

重要度に応じた情報の伝達方法の選択及び防災情報の共有化のための取組 (危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置)

○防災情報の共有化のための取組として、危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置（増設）を進めていきます。

今後の対策の方向性と内容

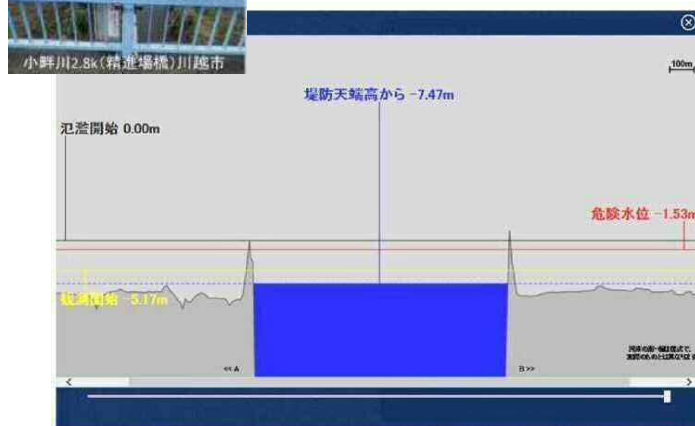
従来の水位計・ＣＣＴＶカメラと比較して安価で性能を限定した機器を、主に危険箇所※に設置し、より身近な情報の提供で住民に切迫感を伝えます。

※河川合流部など、水位上昇が早い箇所。台風19号による状況を鑑み追加配置等を検討。

危機管理型水位計



ＨＰ「川の水位情報」で公表。



簡易型河川監視カメラ

ＨＰで公表予定。
(静止画)

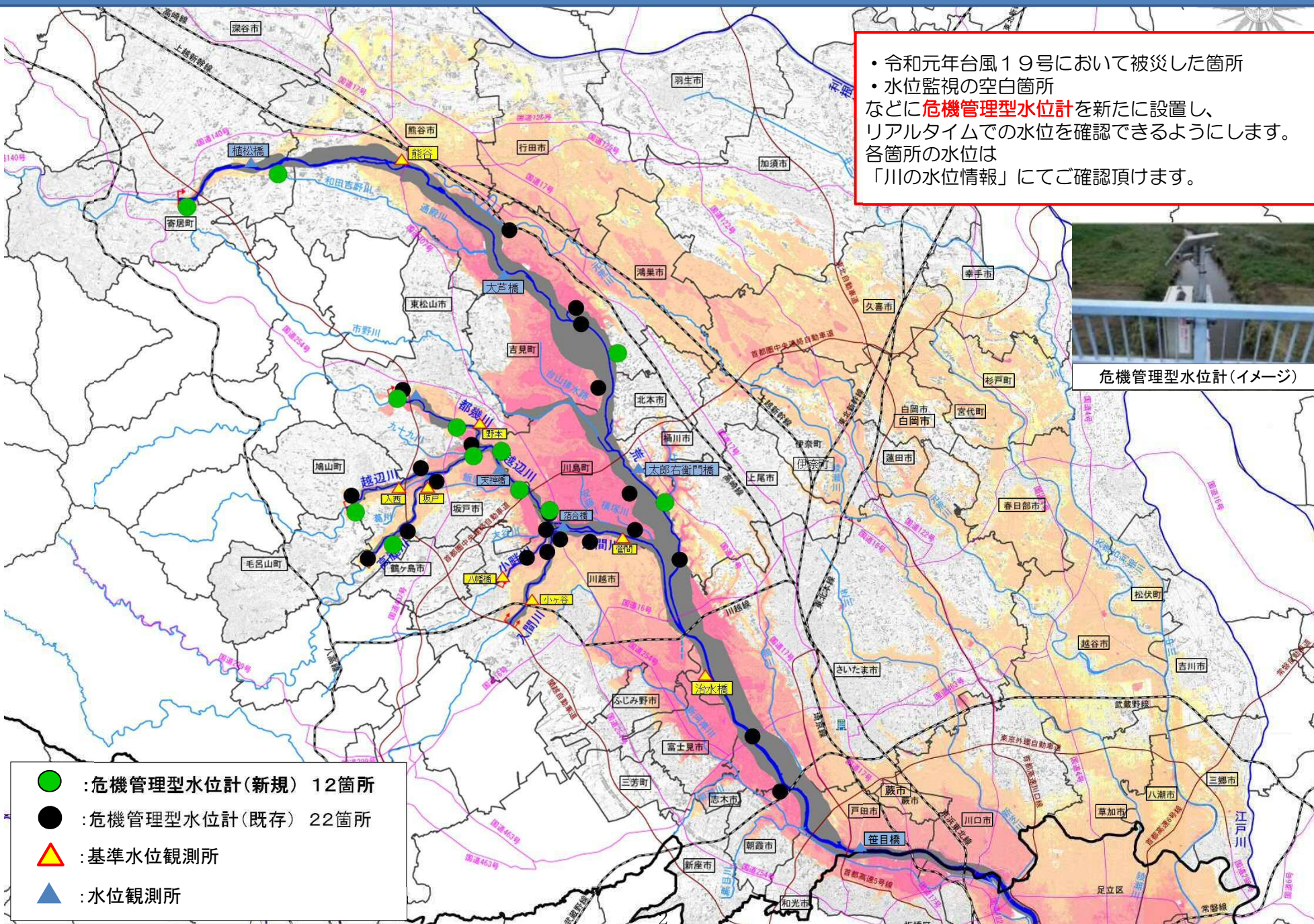


危機管理型水位計 配置計画図

・令和元年台風19号において被災した箇所
・水位監視の空白箇所
などに**危機管理型水位計**を新たに設置し、
リアルタイムでの水位を確認できるようにします。
各箇所の水位は
「川の水位情報」にてご確認ください。

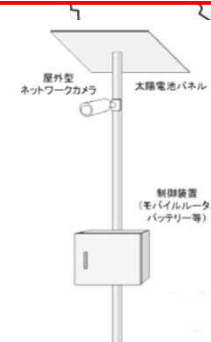
危機管理型水位計(イメージ)

- :危機管理型水位計(新規) 12箇所
- :危機管理型水位計(既存) 22箇所
- ▲ :基準水位観測所
- ▲ :水位観測所



簡易型河川監視カメラ 配置計画図

・令和元年台風19号において被災した箇所
 ・カメラ監視の死角箇所
 などに先行して**簡易型河川監視カメラ**を設置し、
 リアルタイムでの河川の様子を確認できるようにします。
 各箇所の映像は
 「荒川上流河川事務所HP」にてご確認頂けます。
 (<https://www.ktr.mlit.go.jp/araajo/>)



簡易型下線監視カメラ(イメージ)

- : 簡易型河川監視カメラ(R2出水期頃までに設置予定) 9箇所
- : 簡易型下線監視カメラ(今後設置予定) 67箇所
- : CCTVカメラ(既存)
- ▲ : 基準水位観測所
- ▲ : 水位観測所

